

[熊本 S. J. C. D. 例会 抄録]

**演題** 長期経過症例から見た修復治療後のトラブルとその対応

**演者名** 添島正和

**日付** 2006年6月27日

**Key Word**

- 1) トラブルの原因
- 2) 診断の妥当性
- 3) 歯列弓の保全

**抄録**

はじめに

日常臨床における治療後のトラブルの原因としては、歯周病・二次カリエス・補綴物の破損・歯根破折等が考えられるが、長期的な経過からみれば、二次カリエスが占める確立はかなり高いと思われる。換言すると20世紀の修復治療は二次カリエスとの戦いであったといっても過言ではない。しかしながら、21世紀は最新のカリオロジーのめざましい発展により二次カリエスの新しい診断基準と接着歯学により処置方針が確立され、歯列弓の保全を長期的に維持することが可能な時代になりつつある。そこで今回、私が過去に紙上に発表した症例を振り返り、処置の妥当性について考察してみたい。